

■ 事前協議書添付資料 景観配慮検討書（豊川水辺景観育成区域用）

<p>①地域の景観の特徴</p> <p>※計画地の対岸や近くにある橋上からの眺めの状況を整理します。</p>	<p>※ 計画地の対岸にある河川敷公園からの状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊川の「潤いある流れ」が、都市に安らぎをもたらしています。 ・「開放的な水辺」から、対岸のまち並みや「遠くの山並み」をゆつたりと眺めることができます。 ・川沿いの建築物は、背景の山並みや水辺の自然に調和する「穏やかな屋根」になっています。 ・水辺から遠くの山並みまで「つながる緑」が、まち並みと自然を融和させ、心地よい環境をつくりだしています。
<p>②デザインのコンセプト</p>	<p>広がりのある眺めを大切にし、水辺になじむ景観をつくる。</p>
<p>③具体的なデザイン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・建築物は、対岸や堤防道路からの眺めを意識し、豊川に顔を向けてデザインします。外観に凹凸を設けたり、素材や色彩を使い分けたりすることで、壁面の陰影や変化を生み出し、周辺景観になじませます。 ・豊川沿いの開放的な眺めを阻害しないよう、できるだけ高さを抑えます。 ・屋根は、背景の山並みや周辺の建築物、堤防の傾斜に調和する勾配屋根とします。 ・外観の色彩は、水辺の自然や背景の山並みに調和するよう、彩度を抑えたYR～Y系の色彩とします。 ・敷地まわりの既存樹を保全するとともに、新たに植栽を行い、周辺の自然となじませます。

※この添付資料は、豊橋市景観計画ガイドラインを参考にしながら、現地等の調査結果を踏まえて記入してください。②デザインのコンセプト以降は、現時点のイメージで構いません。

※イメージスケッチや参考写真等がありましたら添付してください。